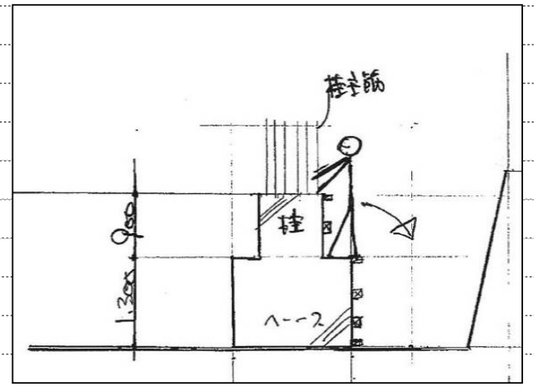
鉄筋台直し作業中、バランスを崩し基礎コンから墜落

墜落転落ー15

災害発生時記録							
発生月日 時	10月9日(火)　午前11時頃			工事内容	基礎コンクリート工事の配筋作業		
被災者	職種	鉄筋工	経験年	26	所属	元請　直営 (1次会社) 1人親方　請負外契約	初期の対策状況含む事項(写真含)
被災程度	左手舟状骨 骨折(休業2ヶ月程度)						
災害発生状況(写真)	被災者は巾30～50cmの基礎コンクリート(高さ1.3m)に上がって柱鉄筋の修正作業を行っていた。 傾いている鉄筋を直すため体重をかけて引っ張った際に手が滑り、バランスを崩して後方に墜落した。						診察の結果、休業2ケ月程度であった。



番号	災害発生要因	人的要因	物的要因	管理的要因	同種工事の再発防止対策	コメント(追記・確認すべき事項)
1	単純作業で危険意識が低下していたこと。		◎	○	職長による現場巡回時の注意喚起を徹底する。	通常、このような作業は基礎コンクリートを埋め戻し、安全な作業床が確保できてから行うのが望ましい。
2	作業方法が不適切だったこと。	○		○	台直し専用の工具を使用する。	

調査記入時の注意点ーー① 所属欄は5項目の該当する項目に○マークの記入 ②3要因(人的・物的・管理的)に関係・該当する要因に○ー重要要因と思われる事項に◎を記入してください。(添付要因資料参照)